

抗精神病薬・双極性障害治療薬・制吐剤

オランザピン錠 2.5mg「DSEP」

オランザピン錠 5mg「DSEP」

オランザピン錠 10mg「DSEP」

オランザピンOD錠 2.5mg「DSEP」

オランザピンOD錠 5mg「DSEP」

オランザピンOD錠 10mg「DSEP」

オランザピン細粒1%「DSEP」

オランザピン製剤

効能・効果、用法・用量追加のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび上記製品の効能・効果、用法・用量の追加が承認されましたので、下記の通りご案内申し上げます。

今後とも引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

● 今回承認された内容(下線部)

【効能・効果】

統合失調症

双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善

抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)

裏面もご覧ください。▶▶▶▶

製造販売元

第一三共エスファ株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1



販売提携

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

【用法・用量】

統合失調症：

通常、成人にはオランザピンとして5～10mgを1日1回経口投与により開始する。維持量として1日1回10mg経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日量は20mgを超えないこと。

双極性障害における躁症状の改善：

通常、成人にはオランザピンとして10mgを1日1回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日量は20mgを超えないこと。

双極性障害におけるうつ症状の改善：

通常、成人にはオランザピンとして5mgを1日1回経口投与により開始し、その後1日1回10mgに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、1日量は20mgを超えないこと。

抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）：

他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増量するが、1日量は10mgを超えないこと。

【お願い】

- ・今般の「効能・効果」および「用法・用量」の追加に伴い「使用上の注意」も改訂されております。「効能・効果／用法・用量／使用上の注意改訂のお知らせ」ならびに「改訂添付文書」を参照賜りますようお願い申し上げます。
- ・流通在庫の関係から、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでに若干の日数が必要ですので、ご使用に際しましては、弊社ホームページ(<http://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>)の「お知らせ」ならびに「改訂添付文書」等を参照賜りますようお願い申し上げます。

以上